

月刊 社会保険 9

2020 VOL.842

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



日本年金機構からのお知らせ

厚生年金保険における標準報酬月額の上限の改定

日本年金機構における広報

2019年度 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)

協会けんぽの令和元年度決算見込み(医療分)について〈協会会計と国の特別会計との合算ベース〉

協会けんぽからのお知らせ

【事業主・加入者のみなさまへ】令和2年度被扶養者資格再確認について

経済財政運営と改革の基本方針2020～危機の克服、そして新しい未来へ～(概要)

日本年金機構からのお知らせ	
厚生年金保険における標準報酬月額の上限の改定	3
日本年金機構における広報	
2019年度 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)	6
協会けんぽの令和元年度決算見込み(医療分)について(協会会計と国の特別会計との合算ベース)	8
協会けんぽからのお知らせ	
【事業主・加入者のみなさまへ】令和2年度被扶養者資格再確認について	12
経済財政運営と改革の基本方針 2020～危機の克服、そして新しい未来へ～(概要)	14
年金・健康保険委員活動報告 唯一無二の命と人生	18
やまと 大和建設株式会社総務部長	うしろまつ たつや 後松 達哉
アヤマリストがいく!! ピンチをチャンスに変える謝罪術 第5回 イカリをリカイに変える3つの心得	20
株式会社クロスリバー代表取締役社長	こしかわ しんじ 越川 慎司
日本とは異なるイタリアの生活事情	
第5回 ローマ市内外でのカタツムリ・コオロギ養殖、ハーブ水耕栽培、ワインづくり	22
イタリア在住ジャーナリスト	あかねが くぼ てつろう 茜ヶ久保 徹郎
書評 石井妙子 著 『女帝 小池百合子』	24
認知症とともに生きる家族の物語	
第5回 「認知症とすい臓がん」それでも最期まで家族を思いつづけて逝った父	25
NPO法人ハート・リング運動専務理事	はやた まさみ 早田 雅美
認知症を予防する③ 第5回 コロナ時代の認知機能予防	
お茶の水健康長寿クリニック院長	しらすわ たくじ 白澤 卓二
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば

たけうち としのぶ
竹内敏信 「光の響」「彼岸花」

なかつし
大分県中津市



彼岸花はなぜか畑や田んぼでよく見かける。それは偶然ではなく昔からの生活の知恵があったからである。それは毒のある彼岸花は、畑を荒らすネズミからの被害を防ぐためにある。そういうことを知らずに漠然と美しい風景だと思う人も多いはずである。しかしこういう理由があると知ったうえで風景をまた見つめなおすとまた違った見え方になる。彼岸花同様に多くの花は理由があってそこで咲いている。それこそが存在する証(あかし)でもあり、生きる意味なのかもしれない。

唯一無二の命と人生



大和建設株式会社総務部長
後松 達哉

●わがふるさと紹介

本州の約3割の面積を占めている東北地方。山紫水明と称される「美の国秋田」。

その県南地区には小京都といわれる角館、水深日本一の田沢湖、日本最高峰の大曲の全国花火競技大会、横手のかまくらなど、中央地区には出羽富士と称される鳥海山、東北3大祭りの竿燈祭り、なまはげで有名な男鹿半島など、県北地区には忠犬八子公の秋田犬、神秘の十和田湖などがあります。

また、食の宝庫秋田には、きりたんぼ、いぶりがっこ(たくあん)の燻製、山菜、稲庭うどん、お酒、お米のあきたこまちなど紹介しきれないほど名産品があります。

四季折々の豊かな自然に感謝です。

●会社の紹介

秋田県で初めて平成の大合併で誕生した美郷町。また、この町はアウトドア総合メーカーモンベルが秋田県に出店した第1号店があるところ

当社もここで創業96年を迎えまし

た。隣接地にプラントを配置し、主に公共工事の舗装・土木・水道施設・建築工事を施工しています。当社の方針である「地域への貢献」「社会への貢献」「達成感」に憧れ、新卒入社の子施工師も日夜「誇りまみれ」で奮闘しています。

会社にとって人と健康は財産です。健康経営宣言とインセンティブ制度への取組みとして必須の全職員健診、特定保健指導、後発医薬品の推奨を行っています。血圧計や健康器具の設置はもちろんです。屋内を全面禁煙にし、手洗いなどの消毒を励行し、現場に出る職員が多いため、特に熱中症予防とインフルエンザ予防のためのワクチン接種などを行い、季節的な病気に対しても万全を期しています。

また、職員へは医療機関への受診等に関して身近な情報を随時提供しています。例えば、かかりつけ医を決めておく、時間外受診はしない、ジェネリック医薬品を使う、限度額認定証は早めに受領、などです。

なお、当社は、予備自衛官等協力事業所になっていきます。昨年の台風19号が上陸した際には、宮城県丸森町に従業員を災害派遣しました。会社にとって貴重な人材ですから、



大和建設株式会社 社屋

が等がないよう無事を祈るばかりでしたが、「互助の精神」と「社会貢献」を大切にして活動しています。

●委員会の紹介

秋田県の委員数は1500名です。そのうち大曲年金事務所管轄4市2町1村の県南地区をエリアとす



「がん教育出前講座」開講式

・ほかにボウリング大会や企業見学などがあります。今年度の企業見学は、75万人の観客を魅了する全国花火競技大会で有名な大曲の花火工場を見学しました。火薬を使うため、地元の人でもなかなか見学できない貴重な体験で、県外出身の若い花火職人の真剣なまなざしには、情熱と感動を覚えまし

② 社会貢献事業

・がん教育出前講座(中学校が希望した名称)は、健診受診率向上とがん予防教育の推進を目的に授業の一環として行っています。2018年度は、A中学2年生200人・3年生200人、B中学全年51人、C中学3年生17人、D小学校4年生と6年生あわせて24人が対象でした。2019年度は、

委員数約500名の大曲社会保険委員会に私は所属しています。3支部で構成し、それぞれの支部長がスクラムを組んでワンチームで活動しています。

主な事業は、すべて年金事務所、協会けんぽからご協力をいただいで実施しております。大きく分けて次の3本柱です。

① 研修会

・委員研修は、年金と健康保険の2部構成です。
・女性のための研修会は、美容と健康のプロによる丁寧で本格的な実技指導で、毎回好評を得ています。

います。このような事業が、地区委員会の事業ではなく、全県的な継続事業となつてさらに増えることを願っています。

健康フェアは、保健所とタイアップして、大型ショッピングセンターを会場に血圧と体脂肪測定、協会けんぽの保健師による健康相談を実施し、健診受診率アップとがん予防対策を呼びかけています。がん教育出前講座を実施した中学生にも協力してもらいました。中学生から「健康診断を受けましょう」「塩分の取り過ぎや受動喫煙に注意しましょう」などの呼びかけは効果抜群でした。

③ 委員の拡充と参考図書配付

●委員の役割と今後の活動

まず、秋田県の健康等に関する現状は、少子高齢化率、がん死亡率、心疾患、脳血管疾患罹患率等、どの項目も全国ワーストワンあるいは上位に位置しています。その結果、健康保険料10・25%と東北で最も高く、事業主、被保険者ともに厳しい現実を直視しています。雪国特有の塩分多めの食生活が、大きく影響していると思われれます。

もちろん県も市町村も各団体も懸命に対策を講じてきたわけですが、未だ徹底または浸透していないといわざるを得ない数字と受け止めなければならぬと思います。

委員会でもこの現状を踏まえ、各職場において情報発信することが最低限の責務と思いますが、継続することが最高の効果になると思います。委員会内の事業はもちろんです。委員会外のさらなるアクションをしないと浸透はなかなか厳しいと思います。

ますます進む少子高齢化に伴い、社会保障制度の改革や改定が進む中、年金委員、健康保険委員の果たす役割は、さらに大きなものになっています。今後も関係団体との連携を深め、ムダを省き効果を追求し、委員相互の親睦を深め、知識の習得に励み、実のある活動に取り組んでいきたいと思ひます。

結びに、日頃ご協力をいただいでいます年金事務所、協会けんぽ、社会保険協会への感謝と全国の社会保険委員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。

(大曲地区社会保険委員会会長 秋田県社会保険協会評議員)